

# 週報 第3126回

会長 植村 勢彦 副会長 原 正人  
幹事 渡辺 万寿 SAA 西田 佳郎

例会会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津  
TEL 0725-20-1121  
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F  
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501  
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org  
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



## 今週の例会(2021年8月27日)

### ■ プログラム

通常例会・納涼例会

### ■ 次週のプログラム

9月 3日:クラブフォーラム  
瀧谷 達 社会奉仕部門担当理事

### ■ 今後の予定

・9月10日:卓話担当 延山 泰典 会員  
・9月17日:卓話担当 松内 俊夫 会員

### ■ 祝 誕生日

杉本 憲一(31日)

### ■ ロータリーソング

奉仕の理想

## 今月の歌

### 夏の思い出

夏が来れば	思い出す
はるかな尾瀬	遠い空
霧のなかに	浮かびくる
やさしい影	野の小径
水芭蕉の花が	咲いている
夢みて咲いている	水のほとり
石楠花色に	たそがれる
はるかな尾瀬	遠い空

### ■ 先週の例会

#### 会長の時間

最近、話題が多すぎて何から話せばいいのか迷います。まあ雨がよく降りますね、異常気象の影響で九州・四国・本州もすっぱりと線状降水帯に覆われ、各地で避難指示が発令されました。洪水や土砂災害も発生しております。ニュースで様子を見ていますと、目を疑うような光景があちこちで見受けられます。幸いこの地域はそういつて光景は見ませんが、これから台風シーズンでもあります、今年は24個の台風が来ると言われています。いつ災害が起きるか分かりませんので、身の回りのチェックをしておいて下さい。そして、コロナも一向に減ることなく医療崩壊・コロナ災害とまで言われています。また緊急事態宣言が、9月12日迄延長されました。くれぐれも各自で身の回りに十分気を付けてお体をご自愛下さい。話は変わりますが、皆さんお盆休みはゆっくり出来ましたか。後半は雨が多くてゴルフ三昧とまで行かなかった様です。我が家は、子供たちも企業接種でワクチンを受けていますので、1年7か月ぶりに里帰りして来ました。ソーシャルディスタンスを考慮して、第一陣が7月19日から8月7日迄の20日間、第二陣が翌日の8月8日から13日迄の2回に分けて帰つて



植村 勢彦 会長

# IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3126回

来ました。本来なら近くに住んでいる孫たちも一堂に集まるのですが、お互いに気を付けて分散しました。前半は京都にも連れていく事も出来ましたが、今回は何処にも行けず、殆んど庭でテントを張ってプール遊びしたり、夕方から浜寺公園に連れていくだけでしたが、我が家に家族が集まることに感謝です。大が廊下をドタバタと走ると、何かあったのかとビックリしますが、子供たちが走り回るの微笑ましいです。そして皆が帰った後は掃除・後片付けをして、夫婦でやれやれと言って、二人で疲れを癒す苦勞さん会をしました。トータルで25日間でしたが、今回は本当に長い里帰りでした。オリンピックも無事終了しました。今回は閉会式も最後まで見ましたし、色々な競技において、スポーツマンシップの相手を称賛しています。多く見ることがありました。特に若い世代の競技でスケートボードは、10代の選手が多いですがライバルが、上手くいっても失敗しても相手を称賛する光景は、とても素晴らしいことだと思います。そしてオリンピックに関わるボランティアの皆さんにも頭が下がる思いです。炎天下での案内やお出迎え・お見送り等、海外メディアも日本の「おもてなし」を称賛しています。そして嬉しいエピソードで、行き先を間違えたジャマイカの陸上選手に、タクシー代を渡したボランティアの方がいて、そのおかげで金メダルが取れたとSNSを見た、ジャマイカの首相がボランティアの方を招待したい話題がありました。心温まる話です。そして8月はロータリークラブの「会員増強月間」です。世界各地で多くのロータリアンがワクチン接種活動の支援を通じて新型コロナへの対応に尽力しています。そういった事も伝えつつ会員増強は、会員一人一人が自覚をもって行動し、友人や同僚や知人にロータリーという贈り物を共有することを願います。藤野委員長はじめ会員増強委員会の皆さんも頑張っています。会員増強は委員会だけで出来るものではありません。会員の皆さんと一緒に協力して頂きます様にお願いします。何方かお知り合いが居ればご紹介下さい。最後に「広げようロータリーの光を！」

### ■ 幹事報告 渡辺 万寿 幹事

○来週27日(金)の例会は、12時45分から13時までが通常例会、13時から13時30分までが納涼例会となります。その時に皆出席表彰と抽選会が行われます。又、ハイブリッド

での参加も可能となっております  
○大阪府より発令されております緊急事態宣言の期間が9月12日(日)まで延長されましたので、9月3日(金)・10日(金)の例会は、本日と同様のかたちで12時45分から13時30分となりますので会員の皆様にはご協力のほどよろしくお願い申し上げます  
○8月23日(月)は所用のため事務局は休みとさせていただきます

### ■ 委員会報告

○本日よりハイブリッド例会がスタートされております。泉大津ロータリークラブのホームページの会員専用ページからはいつでも、パスワードでズーム参加できるようになっております。  
本日例会終了後、会報・IT委員会がごさいの会でメンバーの方はよろしくご協力致します  
(山本 博章 会報・IT委員長)  
○本日例会終了後、合同の委員会を開催致しますので関係者の皆様、ご出席お願い致します  
(泉谷 仁博 国際奉仕部門担当理事)  
○本日メールボックスの方に8月25日(水)の献金のご案内のチラシを入れさせて頂きました。今回緊急事態宣言中ということで、人的な協力はなくなりまして、泉大津ロータリークラブの方から協賛品だけお渡しさせて頂きます  
(瀧谷 達 社会奉仕部門担当理事)  
○10月31日(日)大阪ゴルフクラブにてIRCゴルフコンペを予定しております。近くになりましたら詳細の案内をさせていただきます  
(櫻井 善章 親睦活動委員長)

### ■ ビジター なし

### ■ 出席報告 会員数43名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
8/20	38名	5名	—	88.37%
7/30	34名	9名	3名	86.05%

### ■ メークアップ

榎本(8/6 ワールド大阪ロータリーEクラブ)  
原(正)(7/16 会員増強・クラブ研修委員会)  
川上(7/22 和泉南RC)

### ■ ニコニコ箱

・森口さん、本日は宜しくお祈いします(植村)  
・森口さん、本日卓話宜しく御祈いします(渡辺)

・森口様、本日の卓話宜しくお祈いいたします(西田)  
・嬉しいことがありました(川上)  
・うれしい事がありました(藤野)  
・うれしいことがありました(根尾)  
・欠席のおわび(高寺)

ニコニコ箱合計	34,000円
累計	128,000円

## 先週のプログラム



卓話担当 森口 和信 会員

今、私の趣味にガーデニングがあります。その中でも4月くらいから一生懸命になるのが芝生の手入れです。その芝生といえばもう一つの趣味はゴルフであり、その家の芝生はいくら頑張ってもゴルフ場のグリーンのようにはいきませんが、よく森口さんバット上手いねと言われますのも芝生の手入れのおかげでしょうか。さて、泉大津RCに入会、早や15年となります。当時の会員数は約60数名超えたかと思いますが、例会中にタバコ、ブカペカ、雑談も多々。入り口には凧以外に数本置かれていました。しかし今は凧とされたクラブの歴史と品格、先輩後輩の関係がありました。クラブの最重要課題は親睦に始まって親睦に尽きるという雰囲気であり、それではRCの看板を借りた泉大津レクショナルクラブじゃないかと思ったこともありましたが、1業種1名という業種分類の中で、泉大津内を代表する人達の集まりという自負の元に何より会員間の親睦が大事だったのではないかと思います。ロータリーにおける職業奉仕とは何かという哲学的で、誰の話も聞いて、何を讀んでもわかりにくい難題も、この1業種という職業分類があったからこそ各自がクラブにおいてその職種の代弁者として襟を正したのだと思います。一方、私自身は当時、泉大津にもRACがありましたので、地区のRAC委員をすることで多くの地区内の友人を作ることができまして、当時、近隣4地区のRACが連携活動を行っていましたので、それ

らの若いRAC会員やロータリアンとの飲み食い、またRACの全国大会に参加をすることで日本全国のロータリアンとも接することもできました。この点は今もRCに入ってかけがえのない思い出になっております。さて、本日の卓話の本題に入ります。かつて松内さんが卓話をされていました「毛布屋あと15年」とかいう毛布業界の話題です。かつては先ほど申しました職業分類でも苦心の挙句、「純毛布製造業」とか「合織毛布製造業」とか細目を作らざるをえなかったほど毛布屋の社長が細目を頃です。「毛布屋あと15年」と話された松内さん今も毛布製造をされており、息子さんの俊夫さんにバトンタッチを果たしておられます。「毛布の町 泉大津」と言われながら、ここ十年で様変わりしております。具体的に私がRCに入会しましたH17年の組合統計と令和2年とを比較してみます  
H17 毛布生産枚数 329万8千枚  
R2 117万6千枚 35.6%  
また 泉大津も70数人の会員数がいた頃の昭和60年と比較してみますと  
S60 毛布生産枚数 2,096万3千枚  
企業数 627社 5.6%  
R02 毛布生産数 117万6千枚  
34社  
R2年度の企業数は64社となっておりますが、実際に毛布を製造し、組合に賦課金を支払っていただ

# IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3126回

いているのは34社ですので、もはや風前のともしびらといった現状であります。図らずもここ12年間、私の組合の長をさせていただいておりますが、歴代の理事長のそのほとんどがRCの会員でもありました。この日本における毛布の起源はここ泉大津で明治20年とされておりますが、実際に日本人に毛布のよさが伝わったのは戦後、帰還兵が持ち帰った毛布で毛布の良さが一般にひろまったようであり、そして、それから日本の高度成長期とも重なり、輸出型から内需へと瞬く間に大きな毛布産地になりました。そのような状況は私の幼少時代の昭和30年代にさぶります。助松海水浴場が昭和38年に閉鎖され、臨海線、工業地帯の着工が始まった頃です。まさに日本の高度経済成長期にあたります。海水浴場は助松以外に大浜、湊、浜寺、高師浜とあったのですが、きれいな白い砂浜が無くなってしまいました。さて、200万枚が毛布産地のデッドラインと話していたのも、つかの間、いよいよ100万枚となってしまいました。需要が650万枚としますと輸入浸透率85%強です。幸いなのは産地が急速に減退することなく、毎年、徐々に業者数も減り、生産枚数が減っていることと、残っている会社はいい意味で事業継承も進んでおります。かつてあった同業者間の競争もほとんど無くなってあります。残ったメンバーは何とか国産毛布も守ろうと団結心をもってやっておりますので、未来永劫と団結心もって当面は「国産毛布の町」泉大津であり続けます。

## ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにあります。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

## 四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか